



まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New Concept School 2040

2024年12月6日発行

本町田地区

- 1 頁 校歌・校章の完成
- 2 頁 本町田ひなた小通学区の見直し
- 3 頁 進学先中学校の選択
- 4 頁 地域活用型学校・避難施設

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

どんな想いが込められているのかな？

本町田ひなた小学校の校歌・校章が完成しました！

本町田地区では、玉川大学と連携して、児童の意見を取り入れながら、校歌・校章の制作を進めてきました。本号では、完成した校歌・校章をご紹介します。

本町田ひなた小学校 校歌

作詞 山田 深雪
作曲 朝日 公哉

一
ひなたの丘を丸く包む地球の青
黒くうるおう大地をふみしめ
いまわたしはこの時代を生きる
湧き出するたたえる恵み流れゆく
ふるさとの水いのちの鼓動
ねがいをつないでともに歩もう

二
ひなたの丘に響き合うみんなの声
答えのない未来を見つめて
いつもわたしは心開き考える
なぜだろうやってみようありがとう
粘り強く向き合う仲間
明るく楽しくともに学ぼう

三
ひなたの丘にはばたくみんなの夢
霜雪も勇気で乗り越える
いつかわたしの花を咲かせよう
語り合い遊び働き信じ合おう
太陽を受け 萌え立つ緑
眩しい明日をともに創ろう
ああ色とりどりのああ光あふれる
本町田ひなた小学校

コンセプト「未来を創るひなたの子」

- どこか懐かしさ、暖かみがあり、長い間、色褪せない旋律にしました。
- サビは二部合唱にし、また、フレーズの終わりと次の始まりを同じ音にすることで、歌いやすいように工夫しました。
- 児童や先生、保護者の方からのご意見や、3校で歌われてきた言葉を歌詞に取り入れるとともに、子どもたちが色とりどりの個性を発揮できる本町田ひなた小学校になることを願って作詞しました。
- 1 番は「自然、人々との共生」、2 番は「探究、協働の学び」、3 番は「未来社会の創造」というテーマで制作しました。



作詞担当 玉川大学教育学部准教授 山田深雪さん（左）



作曲担当 玉川大学教育学部教授 朝日公哉さん（右）

本町田ひなた小学校 校章

コンセプト「ひなたへ集まる子どもたち」

- ひなたを作り出す太陽、各々の飛び方で太陽へ向かい羽ばたいていく三羽の子鳥、小学校を表す「小」の文字で構成しています。
- 三羽の子鳥たちは、統合する三校と、本町田ひなた小学校に集う子どもたちを表しています。
- 小学校の統合について、子どもたちは期待や不安などさまざまな想いを語ってくれました。その想いを受けて、変化する未来へ子どもたちが向かっていく様子を表現しました。



制作 玉川大学芸術学部学生有志（写真）
指導 玉川大学芸術学部教授 中島千絵さん
玉川大学芸術学部講師 博多哲也さん



対象地域にお住まいの方はご確認ください！

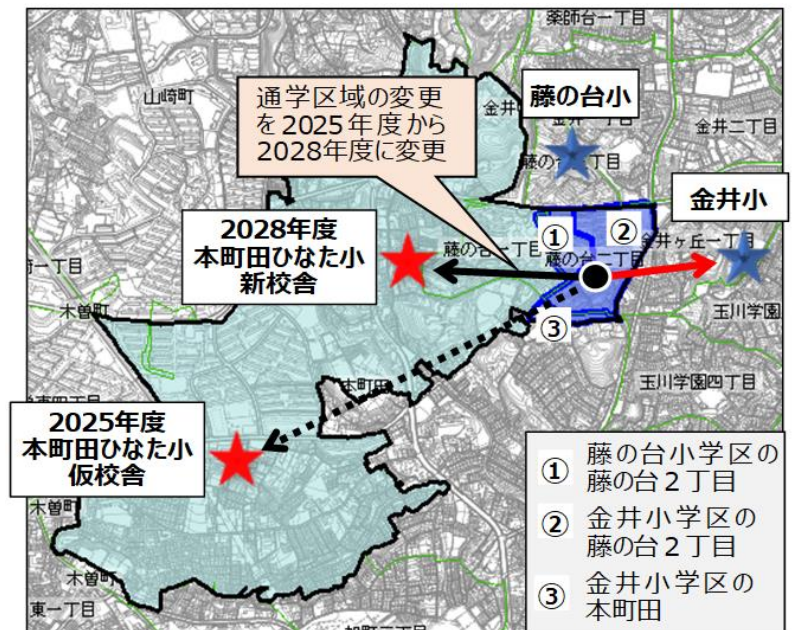
2025～2028 年度の本町田ひなた小学校の通学区域を見直しました！

【問合せ先】学務課 042-724-2176

■ 通学区域変更時期を見直しました

これまで、現在の①藤の台小学区の藤の台2丁目、②金井小学区の藤の台2丁目、③金井小学区の本町田、については、本町田地区の学校統合に伴い2025年度に「本町田ひなた小学校」の通学区域に変更を予定していました（右地図参照）。

しかし、これら①～③の地域から本町田ひなた小学校の仮校舎（位置：現本町田小学校）への通学距離等の負担を考慮し、通学区域の変更時期を新校舎（位置：現本町田東小学校）の使用開始時である2028年度に変更することといたします。



■ 上記①～③地域から仮校舎にあらかじめ通う場合は通学費補助の対象校になります

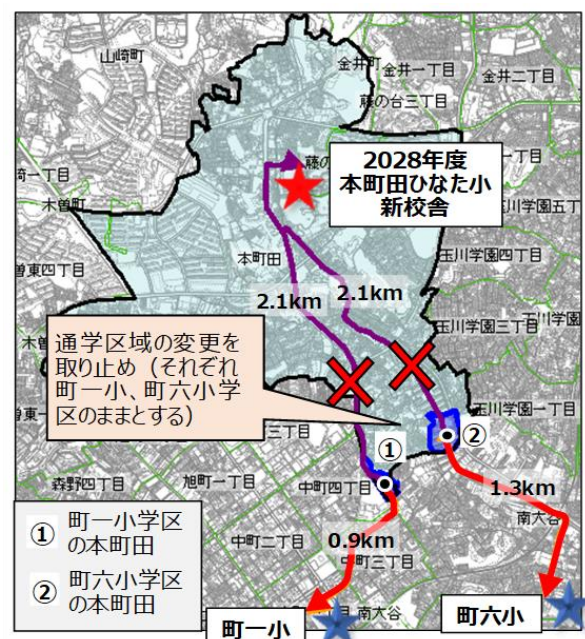
2028年度に①～③の通学区域が本町田ひなた小学校に変更になることを見越して、入学時点から本町田ひなた小学校の仮校舎に通学することも可能です（申請が必要のため、詳細は学務課までお問合せください）。

また、仮校舎への通学期間（2025～2027年度）は学区外通学となりますが、2028年度に通学区域の変更が予定されているため、路線バスを利用して通学する場合、通学費補助（通学定期代の2/3を補助）の対象になります。

■ 通学区域変更を一部取り止めました

これまで、現在の①町田第一小学区の本町田、②町田第六小学区の本町田、については、本町田ひなた小学校の新校舎（位置：現本町田東小学校）の使用開始に伴い、2028年度に「本町田ひなた小学校」の通学区域に変更を予定していました（右地図参照）。

しかし、これら①～②の地域から本町田ひなた小学校新校舎への通学距離等の負担を考慮し、通学区域の変更を取り止め、それぞれ町田第一小学区、町田第六小学区のままとすることにいたします。



中学校の通学区域も一部変更になります！ ただし…

中学校進学時に、通学区域変更前の中学校も選択できます！

【問合せ先】学務課 042-724-2176

■ 中学校進学時の特例措置を設けました

小学校の学校統合に合わせて、一部中学校の通学区域の変更を行います。これにより、その地域の中学校の通学区域が変更になる前年度に、小学校に在籍している2～6年生については、通学区域変更前・後の中学校から、進学先を選択できるようにいたします。以下の例をご参照ください。

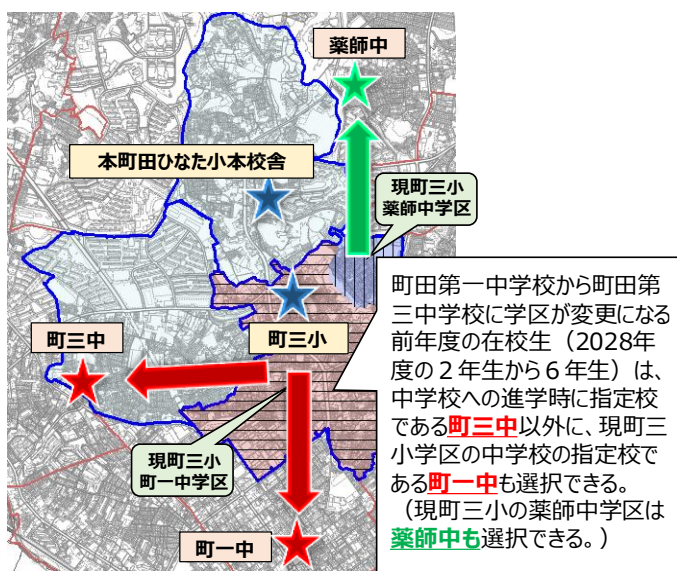
（例1）現在の本町田東小学校在籍者

- 2025年度の本町田東小学校・本町田小学校の統合に伴い、2026年度に中学校区が変更
- 変更前中学校区：薬師中学校
- 変更後中学校区：町田第三中学校
- ※中学校進学時には薬師中学校、町田第三中学校から進学先を選択できます。



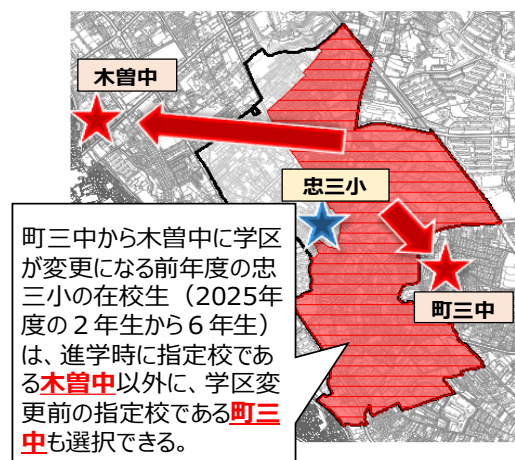
（例2）町田第三小学校の在籍者

- 2028年度の本町田ひなた小学校・町田第三小学校の統合に伴い、2029年度に中学校区が変更
- 変更前中学校区：町田第一中学校
- 変更後中学校区：町田第三中学校
- ※中学校進学時には町田第一中学校、町田第三中学校から進学先を選択できます。



（例3）現忠生第三小学区かつ現町田第三中学区に居住する忠生第三小学校の在籍者

- 2025年度の本町田東小学校・本町田小学校の統合に伴い、2026年度に中学校区が変更
- 変更前中学校区：町田第三中学校
- 変更後中学校区：木曽中学校
- ※中学校進学時には町田第三中学校、木曽中学校から進学先を選択できます。



新たな学校づくり推進計画では

地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指しています

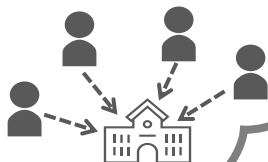
【問合せ先】

地域活用型学校について 学校教育部新たな学校づくり推進課 042-785-5471
都市計画手続きについて 都市づくり部都市政策課 042-724-4248

これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、地域の活動拠点となることを目指しています。こうした「学校を地域の活動拠点とする」ということを、よりわかりやすく伝えるために、改めて「地域活用型学校」と名付け、取り組みを進めています。

地域活用型学校のイメージ

スポーツ・生涯学習・地域活動等を通じて、多様な人々が学校に集まれるようにしましょう。



地域の防災拠点であることから、避難施設として使いやすくしよう。



子どもが放課後に地域の方と学習や創作活動などを出れるようにしましょう。



地域活用型学校の整備のため都市計画手続きを進めています

5地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）では、地域活用型学校の整備のために、都市計画手続きを進めています。

2025年7月には都市計画手続きの一つとして、都市計画案の内容を広くお知らせする予定です。

ひなた村を避難施設に追加します！

本町田ひなた小学校新校舎工事期間中の避難先について

【問合せ先】防災安全部防災課 042-724-2107

本町田ひなた小学校の新校舎（現本町田東小学校地）工事期間中や新校舎使用開始後の避難先について、ひなた村を避難施設として使用します。また、閉校となる学校跡地においても避難施設機能を引き継ぎます。

<災害別避難施設>

時期	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	本町田ひなた小学校【工事期間中】			本町田ひなた小学校新校舎【使用開始後】		
地震災害	本町田ひなた小学校 仮校舎（現本町田小）			本町田ひなた小学校 新校舎（現本町田東小）		
	町田第三小学校			町田第三小学校 跡地		
	ひなた村（2025年度から新規追加）					
風水害	本町田ひなた小学校 仮校舎（現本町田小）			—		
	ひなた村（2025年度から新規追加）					
	忠生第三小学校					
	町田第三中学校					
	サン町田旭体育館					
	木曽山崎コミュニティセンター					